

▶ 従業員の悩み

痛みがひどく机に座っていられなくなり、給湯室でうずくまっていたら、女性従業員から「ここで辛そうにされると、私達の仕事にも支障が出るので困る」と言われた。女性からも理解してもらえず辛かった。

(20代女性・正社員)



不妊治療と仕事を両立していたが、結局、職場に迷惑をかけているというストレスや流産経験もあり、会社を退職した。

(40代女性・経営者/役員)

お客様対応時に痛みが強くなり、話ができなくなった。周囲の人に言えず、お客様から「対応が悪い」とお叱りを受け、職場にも迷惑をかけてしまった。早めに相談できればよかった…。

(40代女性・正社員)



40代前半で更年期症状が出たが、周囲には恥ずかしくて相談できなかった。会議中にハンカチでおさえていないと流れ落ちるほどの汗が出て、会議に集中できなかった。

(40代女性・正社員)

妊娠中の出張や車の運転に配慮してほしいけれど、自分からは言いづらい…。

(20代女性・正社員)

不眠に悩んでいたが、「男性の更年期障害」の可能性があると知り、ショックを受けた。

(40代男性・正社員)



▶ 管理職の悩み

女性の部下が体調不良になったときに、詳しく聞いてよいのか悩む。ハラスメントにならないか…。

(30代男性・正社員・中間管理職)



部下が辛さを我慢していると分かるが、その症状を率直に共有してもらえない。

(30代男性・正社員・中間管理職)

部下の相談にのった場合、上司への報告義務があるが、個人のプライバシーや本人の意向も考えると、健康面の悩みをどこまで報告してよいか迷う。

(50代女性・契約社員・中間管理職)

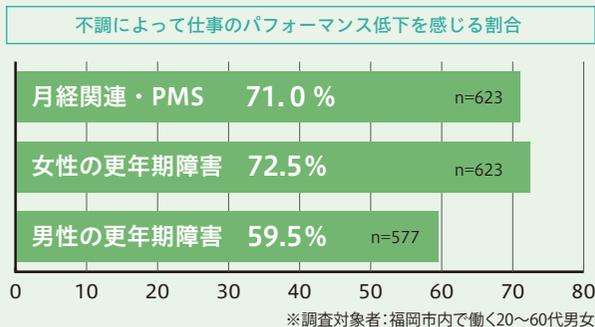


※2023年11月福岡市「女性・男性特有の健康課題等と仕事の両立に関するアンケート」より

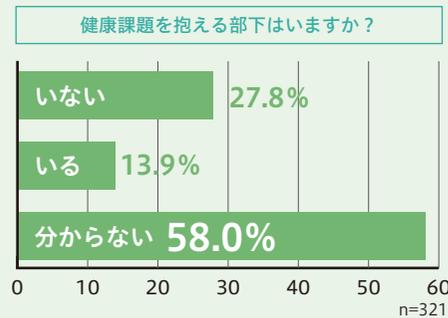
データで見る「従業員の本音」

令和4年度の実態調査でも、従業員や管理職層の「本音」がうかがえる結果が出ています。

▶ 不調によって仕事に支障が出ている



▶ 健康課題を抱える部下対応に悩む管理職層



- 健康課題を抱える部下の対応で難しいと感じること
- No.1 本人の不調に気づくこと
 - No.2 責任ある役職や管理職昇進を勧めること
 - No.3 体調に配慮すること
- n=142

令和4年度福岡市「健康課題等と仕事の両立に関する事業所等実態調査」より